

アリウム「丹頂」切り花はクリザール BVB 吸水処理で観賞期間延長と着色促進が図られる

アリウム「丹頂」切り花にクリザール BVB を吸水させる処理で、小花の開花および萎凋と茎黄化の抑制による観賞期間の延長、小花の着色促進が図られる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室（担当者：松山由佳）

研究のねらい

熊本県特産花きのアリウム「丹頂」は、日持ち保証販売に対応かつ遠距離輸送に伴う販売に有利となる収穫後の管理技術の開発が望まれている。そこで、切り花の観賞期間延長に適した吸水処理剤を明らかにする。

研究の成果

1. 供試した3剤のうちクリザール BVB 処理は、無処理と比べて小花の開花と萎凋が遅い（表1）。また、クリザール BVB の処理濃度が高いほど無処理との差が大きい（図1 a, b）。
2. クリザール BVB 処理は無処理と比べて着色進行が早い（図1 c）。
3. 茎黄化の発生は、無処理の18.9日と比べてクリザール BVB 処理で26日以上と抑えられる（データ省略）。
4. 生け花後の小花開花に伴う花型の変化が、無処理と比べて小さい（図2）。

普及上の留意点

1. 表1の試験は2020年1月14日に採花した切り花に吸水処理（20℃暗黒下・24時間）を行い水道水で14日間の生け花後日持ち調査を実施。生け花は水換え・継ぎ足しなし、恒温室内（25℃、12時間照明設定）で実施。
2. 図1、2の試験は2020年5月20日に採花した切り花に吸水処理（20℃暗黒下・12時間）を行い水道水で27日間の生け花後日持ち調査を実施。生け花は水換え無し、減少分を随時継ぎ足し、恒温室内（25℃、12時間照明設定）で実施。

【具体的データ】 No. 932 (令和3年(2021年)6月)分類コード 02-05 熊本県農林水産部

表1 各吸水処理剤の生け花後の日持ちに及ぼす影響

試験区	前処理時吸水量 (g/10g・本)	半分開花 ² 到達日数	小花が萎凋開始 するまでの日数
無処理	0.35	12	7
BVB	0.36	14	14日以上
ブルボサス	0.33	12	7
K-20C	0.29	10	6

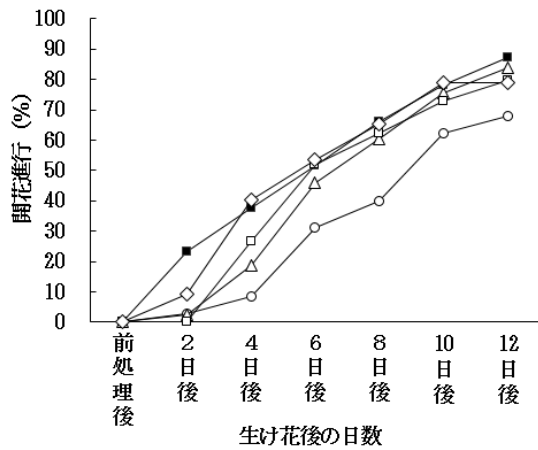
² 小花の開花が花房全体の半分に達するまでの日数

※無処理…水道水で処理

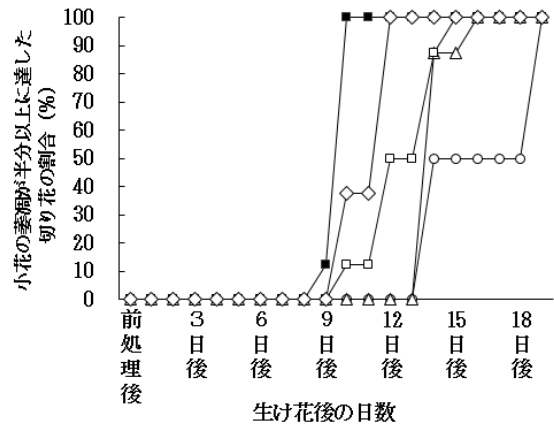
BVB…「クリザール BVB」500倍希釈液で処理

ブルボサス…「クリザールブルボサス」の小袋1袋を1Lの水で希釈した液で処理

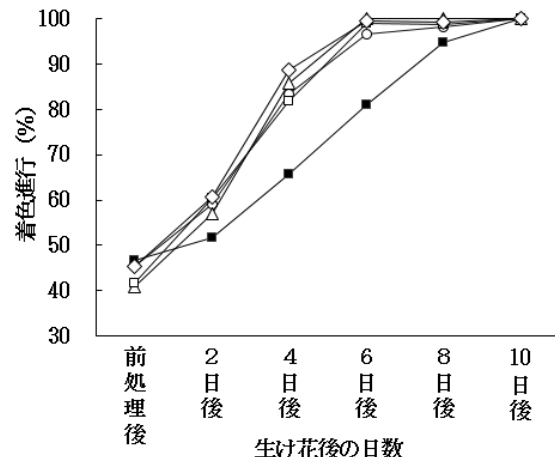
K-20C…「クリザール K-20C」1000倍希釈液で処理



a 開花進行



b 小花の萎凋が半分以上に達した切り花の割合



c 着色進行

図1 クリザール BVB の処理濃度が生け花後の開花・萎凋・着色の進行に及ぼす影響

※a 開花進行=開花部位長/花房長×100、b BVB250倍区のみ欠株2本を除いた割合で表示、
c 着色進行=着色部位長/花房長×100

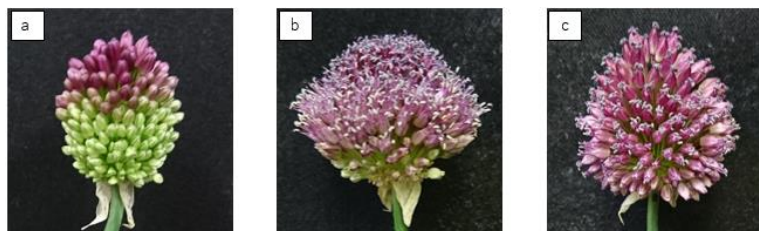


図2 切り花の様子 — a 生け花前、b 生け花12日後(無処理)、c 生け花12日後(BVB500倍希釈液)